

# 多様な力で未来を創る、 新たな杜の都への**挑戦**



自然と共存する  
防災環境都市づくり



若い力が育ち、  
活躍するまち



暮らしを守る  
安全・安心



創造と可能性



# 多様な力で未来を創る、 新たな杜の都への挑戦

—令和2年度施政方針から



仙台市長  
郡 和子

平成から令和へと時代が変わり、いよいよ夏には、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界中の目が我が国に集まるこの機会に、本市の復興の姿を発信していくことが求められます。

未曾有の震災からの復興の過程で発揮された幾多の力こそ、本市の確かな財産であり、仙台の未来を希望へとつなぐ原動力は、市民の皆さま一人一人の中にあると確信しています。

新年度は、新たなまちづくりの指針となる新総合計画を策定する年です。未来のビジョンを市民の皆さまと描き、ともに新たなスタートラインへと踏み出すべく、新年度を未来志向のまちづくりに向けたチャレンジの年としたいと思います。年齢や性別、障害の有無、国籍などの枠にとらわれず、全ての人々に自分らしく活躍する場があり、多様な知恵や経験から新たな価値を生み出す、そのような新しい時代を切り開いていきます。

このような考えの下、新年度の主題を「多様な力で未来を創る、新たな杜の都への挑戦」とし、市民の皆さまとともにチャレンジを続けていきます。

**若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦**

児童生徒の多様な学びの機会の確保や心の居場所づくりのため、不登校の児童生徒の学習や体験活動の場である「杜のひろば」を増設するとともに、学校訪問対応相談員を増員するなど、個々の状況に応じた支援の充実に努めます。また、いじめの早期発見・対応に向けて、法律や心理などの専門家を中心とした、いじめの相談窓口を新たに設置します。保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを順次導入し、地域全体で子どもを支える社会の構築を目指します。

新たな「仙台市すこやか子育て



産後ケアや子育ての悩みに関する相談など、子どもの成長段階に応じた切れ目のない支援を実施します

プラン」の下、誰もが安心して子育てができるまちづくりを進めます。子ども医療費助成における所得制限基準の緩和を進めるとともに、各区役所および宮城総合支所に「子ども家庭応援センター」として、ワンストップの総合的な支援体制を構築します。また、5歳児を対象とした発達相談の実施など、妊娠期から出産・子育て期にわたる支援を充実します。

〔仮称〕まちづくり若者会議」の開催など、若者の感性やアイデアを積極的に取り入れる環境づくりに取り組めます。また、若者の地元定着に向けて、高校生が地元企業の仕事を体験するフィールドスタディー事業を新たに実施します。

### 創造と可能性への挑戦

企業立地の促進やにぎわいの創出など、都心の機能強化を推進するとともに、音楽ホールの基本構想の策定に取り組みます。また、青葉通仙台駅西口の公共空間の在り方の検討に着手するほか、勾当台地区のエリアビジョンの策定や定禅寺通活性化に向けた大規模な社会実験の実施、市役所本庁舎建て替えの基本設計を進めます。さらに、次世代放射光施設の稼働に向けて、企業における施設の利活



東京2020オリンピック・パラリンピックを機に、スポーツ・文化を通じた交流を行います（写真は「シッティングバレーボール」女子イタリア代表の小学校訪問の様子）

用を促進するとともに、研究開発拠点や関連企業の集積等に資する支援策を検討します。

地域経済活性化に向けて、起業家の新たなチャレンジを後押しするスタートアップ・エコシステムを構築するとともに、域外からの人材確保・投資の呼び込みにつながるよう、発信力の強化に取り組めます。また、ガス事業の民営化に向けた具体的な取り組みを進めます。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、イタリア共和国の事前キャンプ受け入れなどのホストタウン事業を通して、異なる文化や障害への理解の促進など次の世代へとつなげるレガシーを築きます。また、令和3年度に予定される東北デステイネーションキャンペーンも見据えながら、交流人口の拡大を目指します。

### 自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦

震災の経験を未来へ伝える新たな核となる、市中心部震災メモリアル拠点の基本構想を策定します。震災から10年を迎えるに当たり、市民の復興の取り組みなどを改めて発信するとともに、市役所における職員間伝承プログラムの構築に取り組みます。また、仙台防災未来フォーラムの規模を拡大して開催します。さらに、被災された方々への心のケアを含む健康支援や復興公営住宅のコミュニティ活性化に引き続き取り組みます。

大規模自然災害に備えるため、仙台駅西口地区等における浸水被害軽減のための排水能力強化を推進するほか、国土強靱化地域計画を策定します。

杜の都の環境づくりに向け、事業者との連携により温室効果ガス削減アクションプログラムに取り組みほか、製品プラスチックのリ



震災の経験や教訓を次の世代へ伝えるため、多様な主体が日頃の活動を発信する「仙台防災未来フォーラム」

サイクル実証事業を新たに実施します。また、令和5年度の「全国都市緑化フェア」の誘致に向けた基本構想の策定に着手します。

### 暮らしを守る安全・安心への挑戦

誰もが生涯にわたり、地域で安心して暮らすための支援体制の充実に向けて、地域包括ケアシステムのさらなる体制強化を図るとともに、高齢者等の通院負担の軽減が期待されるオンライン診療の普及に向けた実証実験を開始します。また、ひきこもり状態が長期化した中高年の方々の社会参加の促進に向けて、居場所づくりなどの支援プログラムを実施します。

日常生活を支える移動手段の確保のため、地域交通支援事業に引き続き取り組むとともに、燕沢地区での実績を踏まえ、支援内容を拡充し、他の地域へも展開していきます。

◆ 多様な人々のチャレンジ精神が発揮され、輝き続けるまちとして仙台を次の時代へと引き継いでいくことが、今、ここに生きる私たちに課せられた使命であると考えます。市民の皆さまとともに、希望ある未来への確かな道筋を打ち出していきます。

## 若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦

### いじめ防止等対策推進

15億7594万円

いじめに悩む児童生徒や保護者への相談支援のため、法律や心理などの専門家を中心とした相談窓口を新たに設置します。児童生徒が悩みを気軽に相談できるさわやか相談員の配置校の拡充を図るほか、スクールロイヤーの助言を得ながらいじめ対策ハンドブックを改訂するなど、いじめの未然防止や早期発見に取り組みます。

### 不登校対策推進

1億4099万円

現在市内7カ所に設置している適応指導教室「杜のひろば」を1カ所増設し、不登校の児童生徒への支援体制を強化します。学校訪問対応相談員を小・中学校に派遣し、別室等で対応しながら、個々の児童生徒の居場所づくりを行います。

### 確かな学力育成

10億4180万円

本市独自の標準学力検査および



小学校低学年における少人数指導や小学校高学年における教科担任制など、確かな学力の育成に向けた施策を実施します

生活・学習状況調査を実施するか、新学習指導要領の実施に伴い、小学校へプログラミング教材等の整備を行います。また、読み書きに困難のある児童のつまづきを早期に把握し改善するため、多層指導モデル教材の全小学校への導入や、院内学級がない病院に長期入院する病気療養児に対するICTを活用した遠隔教育の実施など、授業や指導内容、相談機能を充実させ、児童生徒の「確かな学力」の育成や確実な定着を図ります。

### 学校における働き方改革の推進

18億9396万円

教職員の多忙化解消を推進し、多様化する教育ニーズに的確に対応するため、学校の勤務時間外における電話自動音声案内や高等学校の校務支援システムの導入等を進めます。

### 学校と地域との連携推進

4267万円

学校・家庭・地域が一体となつて豊かな教育環境を創出する、学校支援地域本部事業を推進します。また、保護者や地域住民が学校運営に参加するコミュニティ・スクールの順次導入し、地域全体で子どもを支える社会の構築を目指します。

### すこやか子育てプラン推進

724億718万円

子どもを産み育てやすい環境づくりに向けて、認可保育所等の保育基盤の整備に取り組むほか、子育てを地域社会全体で支える取り組みを進めるなど、未来を担う子

どもたちが健やかに育つことができよう、各種施策を推進します。

### 一時保護専用施設の設定

1379万円

児童養護施設において、小規模なグループケアにより、一時保護が必要な子どもの受け入れを行います。

### 妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

659億6092万円

各区役所・宮城総合支所に、子ども・子育て家庭に対する総合的な支援体制「子ども家庭応援センター」を構築し、子育てに関する情報提供・相談支援の充実を図ります。また、5歳児のいる全家庭にセルフチェック表を郵送し、希望する保護者に対して育児や発達に関する相談を行うほか、乳児期からの虫歯予防を推進するためフッ化物歯面塗布の費用を助成するなど、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図ります。

※4～9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます  
※金額はいずれも1万円未満切り捨て

市が取り組む重点分野と主要事業について  
紹介します

創造と可能性への挑戦

子ども医療費助成の拡充

3817万円

子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子ども医療費助成の所得制限基準の緩和を進めることとし、実施に向けたシステム改修等を行います。

若者の発想を生かしたまちづくり

250万円

若者の柔軟なアイデア等をまちづくりに反映するため、市民協働事業提案制度に新たに若者を対象

都心再構築プロジェクト

にぎわいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける「躍動する都心」を目指し、市民や事業者などと連携して「都心再構築プロジェクト」を推進します。老朽建築物の建て替えや企業立地を促進するほか、引き続きオフィスニーズ調査等を踏まえた有効な支援策の検討を行います。

また、勾当台エリアの新たな方向性を示す「(仮称)勾当台ビジ

とした募集枠を設けます。また、学生などを対象としたワークショップ「(仮称)まちづくり若者会議」



社会の課題解決に寄与する優れた取り組みを行う若者団体を表彰する「仙台若者アワード」

および「仙台若者アワード」を実施し、将来のまちづくりにおける担い手の育成および若者の社会参加の促進を図ります。

若者の地元定着促進

2417万円

大学と地元企業との連携を強化し、地元企業でのインターンシップ等を行うほか、高校生が地元企業の仕事を体験するフィールドスタディー事業の実施等により、将来の地元企業への就職やU・Iターンにつながるなど、若者の地元定着を促進します。

ョン」を策定するとともに、勾当台公園の再整備基本構想の策定に向け、調査・検討等を行います。定禅寺通周辺の魅力向上に向けて、道路空間の再構成や公共空間の利活用の検討を目的とした社会実験を実施するほか、市役所本庁舎建て替えに係る基本設計や、新本庁舎低層部における民間活力の導入可能性調査等を行います。また仙台駅西口における公共空間の在り方の検討を行うほか、都心のにぎわい向上に資する交通環境の再構

主な事業

● (仮称) 勾当台ビジョン策定 500万円

● 勾当台公園再整備基本構想策定 664万円

● 定禅寺通活性化推進

1億7392万円

● 市役所本庁舎建替

2億5190万円

その他の主要事業

● 仙台自分づくり教育推進 7180万円

● 放課後子ども教室推進 3156万円

● 35人以下学級の実施 5億8050万円

● 学校教育施設整備 100億4689万円

● 地域学校協働活動推進 405万円

● 学都推進 623万円

● 都心の再整備支援 2660万円

● 都心交通環境の再構築 600万円

● 音楽ホール整備検討 1854万円



定禅寺通の車線を一部規制して行った社会実験

## 経済産業政策推進

5681万円

「仙台市経済成長戦略2023」に基づき、地域経済の持続的発展に向けた取り組みを実施します。新規株式上場を目指す成長意欲の高い中小企業を「仙台未来創造企業」として集中的に支援するほか、域外からの人や資金等の呼び込みに向けて、首都圏を中心とする多様なメディアに対して、本市経済施策の効果的かつ戦略的な情報発信を行います。

## 地元企業成長促進

5375万円

人材の育成や新規事業の創出支援、業務の効率化など、地元企業の成長を促す各種支援を行います。地域ブランド「都の杜・仙台」を通じて販路開拓、誘客等を促進します。

## 起業支援

1億3730万円

起業や起業後の事業継続、成長を支援するとともに、産学官金の連携によるスタートアップ支援を強化し、仙台・東北からスタートアップ企業を連続的に生み出す「スタートアップ・エコシステム」の形成を加速させます。



起業家応援イベント「SENDAI for Startups」。地域経済をけん引する起業家の輩出や社会起業家の育成等を推進します

## 次世代放射光施設関連産業振興

1699万円

次世代放射光施設の立地を仙台・東北の産業におけるイノベーションや付加価値の創造などにつなげるため、放射光施設の利活用促進に向けた普及啓発等を実施します。

## ガス事業の民営化

8079万円

ガス小売<sup>こわい</sup>全面自由化など事業環境の変化に対応し、さらなる市民サービスの向上を図るため、ガス事業の民営化に向けた具体的な取り組みを推進します。公募条件や評価基準の検討を進めた上で、事業継承者の公募を行い、優先交渉権者を決定します。

## 農林業振興

15億6572万円

民間事業者が行う6次産業化等

による農業の高付加価値化・高度化を支援するとともに、次世代の担い手育成、農業法人の経営力強化などに取り組みます。また、農林業の活性化を図るため、農業生産基盤の確保や強化を進めます。

## スポーツ推進

14億4953万円

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機として、イタリア共和国の事前キャンプ受け入れや各競技団体と連携した相互交流事業等を実施するほか、障害者スポーツのイベント等を通じ、障害理解のさらなる促進を図ります。また、スポーツ施設の改修や大規模スポーツイベントの開催等、生涯スポーツ社会の実現に向けた取り組みを進めます。

## 東北連携推進

3億3922万円

東京2020オリンピック・パラリンピック期間中に、東北6県等と連携して「東北ハウス」を設置し、東北の復興や観光・物産情報を発信します。また、大会観戦を目的として訪日する外国人旅行者の東北への誘客に取り組むほか、令和3年度に開催される東北デスティネーションキャンペーンの準備を進めます。

## 観光振興

8億5823万円

仙台・東北エリアにおける交流人口の拡大を図るため、国内外の旅行者が楽しめる多彩な体験プログラム<sup>プログラム</sup>の発掘・創出を行うとともに、新たに体験プログラムを創出する事業者への支援等を行います。市内宿泊関連団体との連携協定に基づき、地域資源の発掘に向けたワークショップなどを実施します。



ウェブサイト「仙台旅先体験コレクション」(<https://sendai-experience.com/ja/>)では、さまざまなジャンルの体験プログラムを紹介しています

## 文化振興

17億1967万円

「<sup>がく</sup>楽都仙台」や「劇都仙台」の取り組みを推進するとともに、都市の個性と市民の創造性を生み出す文化芸術の振興を図ります。東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした文化プログラムの発掘や、東北復興をテーマとした舞台芸術事業を実施します。

# 自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦

## その他の主要事業

- 都市計画マスタープラン策定調査 550万円
- インバウンド推進 1億2871万円

- コンベンション誘致 6714万円
- 国際姉妹都市等との交流 1331万円
- 国内姉妹都市との交流 628万円

- 東西線沿線にぎわい・まちづくり推進 5億4050万円
- せんだい・アート・ノード・プロジェクト 2500万円
- 博物館大規模改修 1億4001万円

- 八木山動物公園整備 5688万円
- 科学館展示リニューアル推進等 1億6152万円
- 文化財史跡整備推進 1億2376万円

## 震災復興メモリアル事業

1億3524万円

せんだい3・11メモリアル交流館の運営や震災遺構の公開などを通して、津波の脅威や地域の記憶を後世に伝えていくほか、市中心部震災メモリアル拠点の整備に向けた基本構想を策定します。震災の経験や教訓を仙台市職員間で効果的に伝承するためのプログラムを構築します。

## 防災環境都市づくり推進

6788万円

震災10年を機に、市民参加型の「仙台防災未来フォーラム」について規模を拡大して開催するとともに、市民による復興の取り組みをウェブサイトで発信するなど、多様な主体の活動を国内外に発信し、「防災環境都市」のブランド

の形成を図ります。

## 防災・減災対策の推進

5億6878万円

震災の教訓を踏まえ、東部沿岸地域における津波避難広報や情報収集を行うドローンを整備します。また、仙台版防災教育の推進や震災遺構仙台市立荒浜小学校を活用した防災教育の実施、仙台市地域



震災遺構仙台市立荒浜小学校の活用を通して、子どもの防災対応力の育成を推進します

## 被災者生活再建支援

3683万円

防災リーダー（SBL）の養成・支援など、地域のさまざまな自然災害等に対応した防災・減災の取り組みの充実を図ります。

## 被災者の健康支援

1481万円

被災された方々の心と体の健康の維持・向上のため、健康づくり

## 東部地域移転跡地活用推進

21億7310万円

防災集団移転後の東部沿岸部の跡地について、市民・事業者などが、自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進めます。決定した事業の計画に基づき、土地の造成工事等を行います。

## 蒲生北部地区復興再整備

8億4968万円

津波で甚大な被害を受けた蒲生北部地区について、土地区画整理事業により、防災集団移転後の土地の整理集約と、業務系土地利用を前提とした都市基盤の再整備を行います。

# 暮らしを守る安全・安心への挑戦

## 下水道浸水対策

17億9881万円

仙台駅西口地区等高い浸水リスクを持つ地域について、雨水排水施設の整備を進めることにより、浸水被害の軽減を図ります。

## 地球温暖化対策推進等

7億3136万円

地球温暖化対策等推進条例に基づき、事業活動からの温室効果ガス排出削減を進める「温室効果ガス削減アクションプログラム」について、中小企業者への省エネ・再エネ設備等の導入に対し補助を

行うなど、市民・事業者と一体となって総合的かつ計画的に地球温暖化対策等を推進します。

## ごみ減量・リサイクル推進

48億2307万円

世界的な課題となっているプラスチックごみ対策について、年間を通じたキャンペーンやバイオプラスチックの普及促進、製品プラスチックのリサイクル実証事業を行います。また、市民・事業者との協働により、フードドライブの実施や事業系食品ロス削減の啓発などに取り組み、資源循環都市づくりを推進します。



市民との協働で生活ごみの減量やリサイクルに取り組みます

## 百年の杜づくり推進

4億5862万円

質の高い都市緑化や市街地の樹

## 高齢者保健福祉の推進

49億6284万円

地域課題の把握・分析や関係団体間の連携強化などの役割を担う第1層生活支援コーディネーターを配置するなど、高齢者の地域支援合い活動への支援や就労・社会参加の促進等に取り組み、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築を図ります。

## 障害者保健福祉の推進

289億9897万円

「共生する社会」の実現に向け、障害理解の促進や権利擁護の推進、安心して暮らせる生活環境の整備など、各種施策を展開します。また、複合的な課題を抱える障害児者やその家族への支援を強化するとともに、相談支援事業所等の人材育成を行い、地域生活支援体制の充実を図ります。

## 中高年ひきこもり者向けの居場所の提供

169万円

ひきこもり状態が長期化した中高年齢者に、対人交流の機会や安心して過ごせる居場所を提供し、社会参加の促進を図ります。

## 市民健康づくり推進

29億4262万円

生活習慣病予防のための「歩こ

林地の保全などに市民協働で取り組むとともに、令和5年度の全国都市緑化フェア開催誘致に向けて、基本構想の策定に着手します。

## その他の主要事業

●復興まちづくりに向けた町内会等支援 565万円

●消防力の整備

14億2802万円

●国土強靱化地域計画策定の推進

394万円

●水道施設災害対策

74億5663万円

●青葉山公園整備

6億2850万円

「う動こう脱メタボプロジェクト」の展開や、糖尿病性腎症の重症化予防のために、保健指導の手法・医療機関の連携体制の確立に向けたモデル事業を実施します。また、高齢者等の通院負担の軽減が期待されるオンライン診療の普及に向けた実証実験を行うなど、生涯にわたって市民が健康で安心して暮らすことができる環境整備を推進します。

### 杜の都の自転車プラン推進

3億6178万円

学校等と連携した交通安全教室の開催など、効果的な交通安全教育を実施します。自転車利用者の交通ルール順守・マナー向上に関する街頭啓発などに地域ぐるみで取り組むほか、歩行者や自動車と自転車の走行空間の分離を図るなど、自転車走行環境の整備を行い、安全・安心な自転車利用環境の実現を図ります。

### 市民協働推進

3889万円

地域団体や市民活動団体等と市が協働して地域の課題解決や魅力向上に取り組む「市民協働事業提案制度」や、多様な主体の連携による社会的課題の解決を図る取り組みへの助成事業を行うなど、多様な主体による協働まちづくりを一層推進します。

### 先端技術を活用した宮城地区の地域課題解決事業

1600万円

宮城地区西部において、ICTやAI等の先端技術を活用し、閉校施設の活用や地域交通の確保など、さまざまな地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。

### 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト推進

4017万円

郊外住宅地・西部地区の持続的な発展のため、地域の担い手が自発的に取り組む実践事業および調査検証事業への補助を行います。



既存の農園を拡充して交流人口拡大を図るなど、地域課題の解決に向け、さまざまな団体が独自のアイデアを生かして活動しています

### 公共交通活性化等推進

5億3783万円

鉄道やバスなど公共交通を中心とした交通体系の構築に取り組みます。また、地域住民等との協働により、地域の移動手段を確保するための取り組みを支援します。



既存の公共交通を補完する乗り合いタクシーなどの地域の足の確保に向けた取り組みを支援します

### その他の主要事業

● 介護予防・日常生活支援総合事業 31億4662万円

### RPA、AI等の導入及び活用推進

8279万円

業務における事務の正確性や迅速性を高め、市民サービスの向上や職員負担の軽減などを図るため、RPAやAI等の活用を推進します。

### コールセンター等整備

1億3837万円

市政に関する定型的な問い合わせ

### ● 感染症対策

33億2989万円

### ● 人と猫との共生支援

455万円

### ● 男女共同参画の総合的推進

6億8814万円

### ● 地域安全対策

1億611万円

### ● 消費者支援

3104万円

### ● 市民協働による地域づくりの推進

1億8290万円

### ● ふるさと底力向上プロジェクト

2億8187万円

### ● 市民センターによる地域づくり支援

2590万円

### ● 都市計画街路整備

36億7729万円

せを一元的に受け付けるコールセンター等を整備します。

### その他の主要事業

### ● 市税等の収納率向上対策

1億7359万円

### ● 公共施設マネジメントの推進

186億556万円

### ● 公民連携の推進

566万円

### ● 人材育成機能・組織力強化

4456万円

# 各区内の主要事業

## 青葉区

### 区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「青葉区民まつり」、「宮城地区まつり」などを企画・開催するとともに、区民主体の各種イベントを支援します。また、地域のコミュニティ活性化、子育て、防災等の地域課題に取り組みまちづくり活動への助成を行います。さらに、マンシヨンのコミュニケーション形成の促進に向けた取り組みを進めます。



▲区民が主体となって運営され、幅広い世代が参加する「青葉区民まつり」

## 宮城野区

### 区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、「みやぎのまつり」などのイベント等を企画・開催します。また、子育て、防災、地域の魅力発信などの取り組みや、公募によるまちづくり活動への助成を行います。



「みやぎのまつり」では、区民が主体となって工作体験、ブース展示等が催されます

### 海辺のふる里づくり支援

津波被災地域において、まちの活性化等に取り組み団体や、集団移転跡地利活用を検討する地元団体を支援します。

### 被災者交流支援事業

復興公営住宅入居者等のコミュニティ運営支援や、被災者交流活動への公募による助成を行います。

### ふるさと底力向上プロジェクト

津波被災地域の歴史などを未来に伝えるとともに、沿岸部の魅力を発信し、交流やにぎわいを創出します。また、鶴ヶ谷地区をモデル地区とし、世代や分野を超えた連携拡大を働き掛け、

## 若林区

### 区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「若林区民ふるさとまつり」、「合唱のつどい」、「若林わくドキまち歩き」など地域の資源や特色を生かしたイベント等を企画・開催します。また、公募により、市民団体が実施するまちづくり活動への助成を行います。



「若林わくドキまち歩き」では、地域の歴史や職人の技などを学びます

### ふるさと底力向上プロジェクト

六郷東部地区の新たな地域の拠点として、コミュニティ広場を東六郷小学校跡地に整備するとともに、地域主体のまちづくり活動を支援します。

### 区役所庁舎大規模改修等設計

施設の長寿命化を図るため、区役所庁舎の大規模改修設計とより利用しやすい施設を目指して、内部改修等の設計を行います。

## 太白区

### 区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「太白区民まつり」や小学生の体験学習事業、区内の自然・歴史を探访する事業などを企画・開催するほか、公募により、市民団体が実施するまちづくり活動への助成を行います。また、地域づくりの担い手同士の交流の機会を創出するなど、地域づくり活動を支援します。



「太白区民まつり」では、さまざまな市民団体がステージ演出を行います

### 郡山遺跡整備

史跡地の公有化と史跡公園としての整備を推進します。

### ふるさと底力向上プロジェクト

生出・坪沼地区の活性化支援を引き続き行うほか、秋保地区の魅力ある体験型観光の創出や観光客と市民との交流促進など、

## 泉区

### 区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。世代間交流を促進し、ふるさと意識を育てる「泉区民ふるさとまつり」、「七北田川クリーン運動」、「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」等を開催します。また、地域と大学が連携して地域課題の解決を図る「いずみ絆プロジェクト支援事業」や「大学・地域連携による課題解決事業」を行うほか、地域の特色を生かし、区民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



▼「泉区民ふるさとまつり」のファイナーレでは、花火が夜空を彩ります



▲泉区のシンボル・七北田川の環境保全のため、区民等により行われる「七北田川クリーン運動」

▼宮城西部地区では、地域の財産である大倉ダムにこいのぼりを掲げ、大倉周辺の魅力を広く発信



ト ふるさと底力向上プロジェクト

区民の皆さんや地域団体の創意工夫により、地域活性化を推進する活動を支援します（学生の参加による地域づくり推進、作並・新川地区活性化事業、仙台萬本さくらプロジェクト）。また、少子高齢化や人口減少が進む宮城地区西部（作並・新川地区、大倉地区）において、ICTやAI等の先端技術を活用し、地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。

計 戦災復興記念館大規模修繕設計

■ 学校教育施設整備  
折立小学校、中山中学校の校庭整備を行います。

■ 東六番丁児童館改築設計

■ 水の森市民センター大規模修繕

■ コミュニティ・センター大規模修繕設計（川平、川前）

■ 特別養護老人ホーム建設費補助（上杉山中学校区）

■ 仙台駅西口ガス灯改修

■ 道路整備  
高畑定義線、勾当台通外記丁線等の整備を行います。

■ 橋りよう整備  
国見三丁目橋、仲の瀬橋等の補修工事を行います。

■ 公園整備

菊田山公園、（仮称）米ヶ袋一丁目公園、青葉山公園、愛子公園等の整備を行います。

地域活動力の向上を支援します。



多くの参加者でにぎわう「仙台蒲生日和山の山開き登山」

■ 蒲生北部地区復興再整備

蒲生北部地区において、土地区画整理事業等を実施します。

■ 学校教育施設整備

榴岡小学校の校舎等増築工事や、高砂中学校の校庭整備を行います。

■ コミュニティ・センター大規模修繕（新田、燕沢）

■ 鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備推進

■ 福田町駅周辺地区交通結節機能強化推進

■ J・R東日本が実施する福田町駅のバリアフリー化に伴い、鉄道への乗り継ぎの利便性を高めるため、駅結節点整備等について検討を進めます。

■ 道路整備  
今市福田線、鍋沼線等の整備を行います。

■ 橋りよう整備  
燕沢歩道橋等の補修工事を行います。

■ 公園整備  
高砂中央公園、与兵衛沼公園、仙台駅東1・2号公園等の整備を行います。

■ 震災の伝承と発信

震災10年を迎えるに当たり、甚大な津波被害を受けた若林区において震災の記憶を伝承し、取り組みを発信することで、災害対応力の強化につなげます。

■ 被災者交流支援事業

復興公営住宅入居者等のコミュニティ運営支援や、被災者交流活動への公募による助成を行います。



東六郷コミュニティ・センターで地域住民により開催されている「六郷東部ふるさと交流祭」

■ 学校教育施設整備

大和小学校の校舎等増築工事を行います。

■ 沖野市民センター大規模修繕設計

■ 蒲町コミュニティ・センター大規模修繕設計

■ 道路整備  
宮沢根白石線、長喜城霞目線等の整備を行います。

■ 橋りよう整備  
中倉歩道橋等の補修工事を行います。

■ 公園整備

海岸公園、荒井南1号公園等の整備を行います。

西部中山間地の活性化と地域力の向上に努めます。



さかいの地区創生会による「旧板敷いどう風道」の散策ルートの整備活動

■ 被災者交流支援事業

被災者交流活動へ公募による助成を行います。

■ 学校教育施設整備

四郎丸小学校の校舎等増築工事や、大野田小学校の校庭整備を行います。

■ 東中田市民センター大規模修繕

■ 特別養護老人ホーム建設費補助（山田中学校区）

■ 下水道浸水対策  
四郎丸地区の浸水対策を行います。

■ 道路整備  
郡山折立線、向山1号線、仙台山寺線等の整備を行います。

■ 橋りよう整備  
熊野宮橋の整備や、鹿野小学校前歩道橋、石神橋等の補修工事、太白大橋等の耐震工事を行います。

■ 公園整備

富沢駅東3号公園等の整備を行います。  
■ 八木山動物公園整備

ト ふるさと底力向上プロジェクト

泉西部地区の活性化に向け、住民主体の取り組みや情報発信への支援を行います。また、泉中央地区のにぎわい創出や、高齢化が進む郊外居住地区における地域課題を解決する取り組みを支援します。

■ 区役所庁舎建替事業

■ 泉文化創造センター大規模修繕設計

■ 学校教育施設整備  
加茂中学校の校庭整備を行います。

■ 将監地域複合施設建設

■ 南中山市民センター大規模修繕設計

■ コミュニティ・センター大規模修繕（館、七北田）

■ 虹の丘コミュニティ・センター大規模修繕設計

■ 道路整備

■ 道路施設等長寿命化修繕  
将監トンネル、泉ヶ岳スノーシェルターの改修工事を行います。

■ 橋りよう整備

馬橋の整備および泉中央駅ペDESTリアンデッキ等の補修工事を行います。

■ 公園整備

七北田公園、泉中央公園、高森東公園、泉第二中山3号公園等の整備を行います。

# 令和2年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆788億円で、前年度比305億円減少したものの、震災以降引き続き1兆円を超える規模となりました。

一般会計では、子ども・子育て支援新制度に係る経費や学校建設費が増加した一方で、市庁舎整備基金造成積立金の減少や、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券発行に係る経費の減少などにより、前年度比152億円減の5,411億円となりました。

また、特別会計は公債費の減少などにより106億円減少し、企業会計はガス事業における原材料費の減少などにより47億円減少しました。

## 歳入 繰入金や諸収入が減少

繰入金については、公共施設保全整備基金からの繰入の減少などにより、145億円減少しました。諸収入については令和元年度に発行したプレミアム付商品券販売収入の減少などにより44億円減少しました。また、市税収入は税制改正の影響などにより、10億円減少しました。

## 歳出 義務的経費は増加、投資的経費は減少

【目的別の歳出】 子育て支援や障害者福祉などに要する費用である健康福祉費は、子ども・子育て支援新制度関連などにより増加し、2,054億円（38.0%）と最も大きな割合を占めました。次いで学校建設費の増加などにより教育費が977億円（18.0%）、公債費が573億円（10.6%）、土木費が570億円（10.5%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障給付等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、会計年度任用職員の導入や、子ども・子育て支援新制度関連などにより前年度に比べて73億円の増加となりました。また、投資的経費は、復興事業の進捗などにより、前年度に比べ15億円の減少となりました。

## 「多様な力で未来を創る、新たな杜の都への挑戦」に向けた財政運営

本年度は、施政方針に掲げた施策の4つの柱である「若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦」・「創造と可能性への挑戦」・「自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦」・「暮らしを守る安全・安心への挑戦」に重点的な予算配分を行いました。

また、将来の税収増につながる地域経済の活性化、公共施設の計画的な保全および更新など、引き続き持続可能な財政基盤の確立に向けた取り組みを進めていきます。

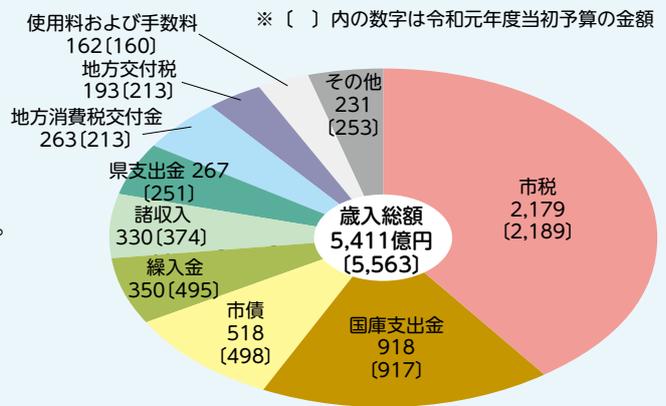
予算についてのお問い合わせは  
**財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、**  
 または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- **一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- **特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- **企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

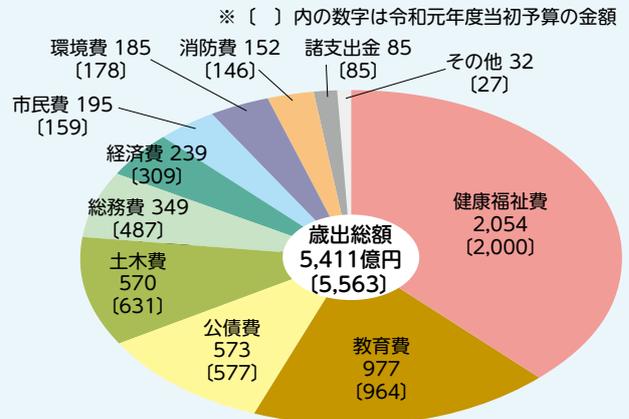
## 令和2年度の会計別の予算規模

	令和2年度（前年度比）
一般会計	5,411億円（152億円減少）
特別会計	3,064億円（106億円減少）
企業会計	2,313億円（47億円減少）
合計	1兆788億円（305億円減少）

## 歳入内訳（一般会計）



## 【目的別】歳出内訳（一般会計）



## 【性質別】歳出額（一般会計）の推移

